



旭山夏鳥到来情報2023

旭山記念公園と旭山都市環境林における 2023 年の夏鳥到来情報をまとめました。

5 月 7 日現在まだ確認していない夏鳥については来月「野鳥トピックス」にて補足します。

なお、ここでの「夏鳥」とは北海道内で繁殖する種のこと、うち旭山では移動時に見られるだけの種については名前の後に*を付しています。また、カッコ内は 2022 年との比較です。

- 1 ペニマシコ* : 3/23 (13 日早) 2 ヤマシギ : 3/23 (6 日早)
3 ホオジロ : 3/28 (8 日早) 4 モズ : 3/31 (同日)
5 キジバト : 3/31 (13 日遅) 6 イカル : 4/4 (12 日遅)
7 ウグイス : 4/11 (1 日遅) 8 キセキレイ : 4/14 (9 日遅)
9 クロツグミ : 4/14 (4 日早) 10 ルリビタキ* : 4/14 (7 日遅)
11 アオジ : 4/15 (3 日遅) 12トラツグミ : 4/18 (12 日遅)
13 アカハラ : 4/19 (同日) 14 ノビタキ* : 4/20 (7 日遅)
15 メジロ : 4/21 (3 日遅) 16 ヤブサメ : 4/24 (9 日遅)
17 センダイムシクイ : 4/26 (2 日遅) 18 エゾムシクイ* : 4/26 (1 日遅)
19 ビンズイ* : 4/27 (2 日早) 20 コマドリ* 4/28 (4 日遅)
21 コルリ : 4/28 (同日) 22 オオルリ : 4/29 (4 日遅)
23 キビタキ : 4/30 (3 日早) 24 コサメビタキ : 5/2 (3 日早)
25 チゴハヤブサ : 5/2 (7 日遅) 26 ツツドリ : 5/5 (2 日遅)



今後到来予定 : アオバト、ハリオアマツバメ、オオムシクイ

5 月 7 日までに到来した夏鳥は 26 種。前年より±3 日以内はその年の小気候に影響される誤差の範囲内と考えて、昨年より 4 日以上早い=4 種、4 日以上遅い=10 種、±3 日以内=12 種で、雪解けが昨年より早く、桜の開花も早かった割に夏鳥到来はむしろ遅い傾向にありました。

細かく見ると、3 月中に来ていた 5 種のうち 3 種は早く到来した一方、4 月に入ってから 20 種中 9 種が去年より 4 日以上遅く、4 日以上早いのは 1 種だけでした。

なお、「夏鳥」のうちクロジは今年は旭山での確かな観察情報はありませんでした。

鳥の渡り、いったいどうなっているのか、毎年、興味深いです。

旭山の桜2023

旭山記念公園の桜、2023 年は 4 月 18 日に最初の開花が確認され、21 日にはもう満開といえる状況になり、満開は 25 日まで続きました。(写真は左から 4/18、4/21、4/26、4/29)

2022 年は開花が 4 月 24 日、満開が 4 月 27 日から 4 月 30 日で、やはり今年は早かったです。



**レストハウス「ぼるく」 毎日 10 時開店、
「金」「土」「祝前日」と「満月の日」は 21 時、
それ以外は 17 時まで営業しています
噴水も毎日 10 時運転開始です**

レストハウスと展望台一本桜
2023 年 4 月 21 日撮影



旭山野鳥メモ④9ビンズイ

ビンズイ Olive-backed Pipit *Anthus hodgsoni* スズメ目セキレイ科
北海道で夏鳥。開けた場所がある山地で繁殖。旭山では春と秋の移動時期に見られ、春は1週間から10日、秋は数日見られる。春の方が観察しやすい。かつて一度8月に園内で観察されたことがある。

道内では生息地が限られているようで、同じような環境でも地域によっていたりいなかったり。低標高地でもいる場所がある。

雄はホオジロを少しまろやかにしたような声で囀るが、その鳴き声が「ビンビン ズイズイ」と聞こえることが名前の由来といわれており、漢字「便追」は擬声語の当て字であって特に深い意味はないらしい。旭山では囀りが聞かれたことはない。

セキレイの仲間らしく尾を上下に振って歩きながら地面で餌を探す。結構長い距離を歩くこともあり、その姿はネズミのようにも見える。「ツー」という細くて甲高い鳴き声で存在に気づくことがある。

人が近づくと地面からふわっと飛び上がって近くの木にとまり、周りにいた数羽が連れ立って飛ぶ。さらに近づくとまた飛んで逃げるが、すぐには遠くに飛んで行かないので観察しやすい鳥ではある。

英語で「背中がオリーブ色の」と名付けられているが、確かに日陰ではオリーブ色がかって見える。ユニークな名前と変わった動き。毎年春、ビンズイに逢えるのを楽しみにしている人は意外と多い。



2023年5月の野鳥トピックス

- ・ジョウビタキ: 4/20 に現れました ・ムギマキ: 今月中旬に来るか?
- ・シマエナガ: 園内で時々見られています。巣で抱卵していると思われる個体は尾羽の先が曲がっています(右写真)
- ・キビタキ: 囀りを聞く機会が増えてきました ・オオルリ: まだ少ないです
- ・クマゲラ: 園内で時々見られている程度で今年はあまり来ていません
- ・ヤマゲラ: 園内で観察機会が増え雌雄同時に見られることもあります
- ・アカゲラ: 先月よりは目立たなくなってきましたがよく見られています
- ・キクイタダキ: 5月に入って見られなくなりました
- ・ヒレンジャク、キレンジャク: どちらも5月上旬まで見られていましたが、5/7までに見られなくなりました
- ・ウグイス: 園内数か所で囀りしており、木の上にとまって囀る姿を見る機会に恵まれることもあります
- ・カワラヒラ: 木のとっぺんで囀りしています ・クロツグミ: 今年は園内での観察情報は少ないです



旭山ミニ図鑑2023年5月



笹やぶでお休み中のエゾタヌキ



クジャクチョウ夏まで一度いなくなる



エゾエンゴサク今年もたくさん咲いた



ワスレナグサ人気上昇中



ミズナラの花



スモモと思われるバラ科の花



1週遅れて咲く遊具広場の謎の桜



八重桜並木の花アップ



公式サイト

「アカゲラ通信」 第115号 2023(令和5)年5月8日発行
(公財)札幌市公園緑化協会 旭山記念公園管理事務所
<https://www.sapporo-park.or.jp/asahiya/> 〒064-0943 北海道札幌市中央区界川4丁目
電話 011-200-0311(金・土・日・祝日10時~16時) FAX 011-200-0351